

五島市図書館友の会だより

第5号(2016.6.3)

発行者 五島市図書館友の会

田舎でしかできないことがある

先日、あるテレビ番組で有馬温泉の観光カリスマ仕掛け人金井啓修さんについて取り上げていました。その中で金井さんは「次に何をするのか?と考えた時に自分が好きなこと、欲しいと思ったことをただけです」と語り

「田舎でしかできないことがある」という言葉に出会ったことが自分の転機になりました、と語っています。

これを聞いたとき、ふと私が楽しかったことはなんだったかなと考えてみました。生まれた岐宿町川原で、楽しかった事は川で毎日遊んだこと。そして、春を告げる白魚とアオサの吸い物や鮎や鰻そしてワタリガニを食べるのを毎日楽しみにしていたこと。鰻をさばくのをみるのが大好きで、とくにあのぬるぬるした鰻をぎざぎざのある大きな葉っぱで何度もしごいた後五寸釘を刺し、あっという間に本当にきれいに骨と身を分けるおじさんたちの包丁さばきにほれほれしたものでした。

十才のとき家庭の都合で福江に引っ越して出会ったものは漫画でした。貸本屋で当時発行していた週刊・月刊漫画を月に三十冊以上というものすごい量を読み漁っていました。そして中学生の時、とても暗かったという印象しかない図書室で多くの本に出会いました。遠足は鬼岳、水泳は六方で毎年学校から歩いていったものでした。

その後、十年ほど五島を離れた後、結婚して住んだのが久賀です。一番の驚きは、まるでクリスマスツリーのように光り輝く蛍でした。車のライトの光にまるで地の底から湧いて出てきたかのような蛍の群舞には言葉を失いました。そして今は作られなくなった鹿児島のかるかんに似たつくね芋のじょうよまんじゅう。『14ひきのねずみたち』の絵本に描かれてある通りの情景だった山芋堀り。他にも椿の実のかたしから昔ながらの方法で抽出した椿油の輝き。材料を久賀島じゅうで集めて作ったリースや松ぼっくりやドングリで作った置物。久賀湾でのマテ貝堀り等枚挙にいとまがないほど久賀では思いつきり自然を楽しませていただきました。



写真・五島市

四年前から思いがけなく縁ができた富江。子ども達が幼い頃遊んだ草スキー場やキャンプ村等ぽっと温かくなる思い出の地。とにかく野菜が美味しい。特にミニトマトは絶品。そして家庭の庭を彩る四季折々の花々。私も初めて皆さんに教えられながら、花づくりを楽しんでいます。そしてわくわくさせる富江藩の歴史。

このように五島の行く先々で楽しい日々を過ごしてきました。山や川や海は今も変わらない姿を残しています。でも自然の恩恵をうけていますか？ただ眺めるだけになっていませんか？自然に囲まれているだけになっていませんか？

五島に今住んでいる者たちが集まり、楽しかったこと、大好きだったものを語りその中から今蘇らせる為に力を合わせることができたら、自然の恵みの中で遊ぶことができたら本当に楽しいでしょう。特産品になるものもあるかもしれません。

昔は五島の川には必ずいた鰻があちこちの川でとれるようになったら、余所ではお目にかかることのできないあの久賀の蛍の群舞を五島全体で蘇らせたなら、そして『ばらかもん』の原画や山本二三氏の描いた五島の風景画が展示され漫画もたくさんある図書館ができたら、今よりきっと楽しい島になるでしょう。美しい自然は日本全国どこにもあります。でも、自然あふれるその場所で遊べたら、五島はもっと楽しい島になります。

冒頭に紹介した金井さんは、もう一つ大切な言葉を私達に伝えています。「伝統は革新がなければ守れない」

[リレーエッセイ4]

武藤 蘭子 (五島市図書館友の会会員)

最近の活動から

毎月、図書館休館日に館内の「アートひろば」展示作業をしています。

写真は5月掲示の「的野習字教室」

■毎月「世界遺産」の展示作業をされている片山圭弘さんの感想

「イコモス」の指摘を受けての「推薦取り下げと今後の取組」についての資料掲示を「禁教期命を懸けて信仰を守り通せし信徒尊し」の思いで「2018年の世界遺産実現を」の願いを込め、更に一人でも多くの来館者に読まれ、それが又、多くの人に語られ運動として深まり広まっていく事を願い4時間に及ぶ張り替え作業を終えました。



今年も「古本まつり」が盛大に



「第2回古本まつり」が4月24日、図書館玄関前にて開催。オープン前から行列ができるほど、一日中賑わいました。



会場でご協力いただいた「熊本義援金」を図書館に納める古賀役員

海陽高校生徒のボランティアの協力も大変助かりました。収益金（「友の会」の活動費として活用）は18,740円、当日、熊本地震の義援金も17,245円集まりました。不用本を提供してくださった方、準備に汗を流された会員の皆さん、そして当日、本を買ってくださった皆さん、ありがとうございました。



第4回総会が開催

5月15日図書館3階にて開催。16名の参加でした。まとめと活動計画・会計報告・役員体制が承認されました。

参加者の新図書館に対しての意見（一部のみ）

- (^o^) 福江市周辺の地域にどういう図書館サービスを上げていくかが問題
- (^o^) 図書館建設は三井楽とは温度差がある
- (^o^) どういう図書館をつくるのか？内容が大事
- (^o^) 「島」のことがわかる、「郷土」に関する資料をたくさん置いてほしい
- (^o^) 小さい頃から子どもが本に親しむような図書館が欲しい
- (^o^) 中・高生の子どもがいる。広い学習スペースがほしい
- (^o^) 以前、伊万里の図書館に行ったときに外の庭のようなところで、何人かが楽しそうに将棋をしていた。あるおばあちゃんはお弁当を食べていた。1日おれるような図書館がほしい



新役員：坂井 淳・旭梶山 英臣：・古賀 義和・市川 和枝

区分	内容	金額(円)	内訳
収入	前年度繰越金	22,911	
	会費	24,000	500円×48人(昨年度1名分)
	寄付	14,513	内海さん(10,000円),古本まつり(1,013円),会員
	利息	10	通帳利息
	雑収入	10,140	古本まつり売上(26年度)
	活動費	24,000	生協ララ元気ネットより補助
	合計	95,574	
支出	講話謝礼	10,000	「内海文庫の世界」内海さん
	全国組織入会金	2,000	全国図書館友の会連絡会
	古本祭り準備費	3,564	ブックスタンド、買い物袋、ロープ
	通信費	10,920	はがき代
	インクジェット代	7,509	展示新聞コピー、行事案内文印刷等
	用紙代	5,152	
	展示費	8,302	しおり入れ製作材料代、製作謝礼(3,000円)かご、文具等
	雑費	548	講話時お茶代(90円)、全国組織入会金、のぼり振込手数料(458円)
	のぼり代	4,320	図書館開館案内2枚分
	次年度繰越金	43,259	
	合計	95,574	

編集後記

展示作業・本棚整理のお知らせ

★毎月図書館休館日／午前10時～11時
6月30日(木) 7月31日(日) 8月31日(水)

★第7回「読書会」

6月9日(木) 午前10:00～
『あした吹く風』あさの あつこ(著)
本は図書館にあります

先日の展示作業のあと、ある役員さんが展示は2カ月に一度にしてかわりに、本棚整理を又、ホームページを開設したら、というご意見。大賛成です。

K・S